



くぬぎ通信



2021年6月発行 第354号
市原第7団ボーイ隊長 土橋一弘
2021年6月度テーマ ; われらの力

5月度 隊活動

年間活動計画における5月の活動は「奉仕」、テーマは「ともに力をあわせ」
タイミングよく年間活動内容とテーマに沿った、ピオトープを作るという奉仕活動を行なうことになりました。ピオトープとは自然の生物たちが生きていく場所であり、地域の方々が自然に接することができる場所になるもの。
開発によって減少した自然環境が少しでも回復することで、トウキョウサンショウウオやホタルなど多くの生き物が見られるようになるといいですね。
午後からの活動は、班長会議で「野営場前の林道を散歩している方々が休憩できるベンチを作りたい」という提案に基づき、竹材と麻縄だけを使用したベンチを作りました。
基本的なロープワークは「立ちかまど」と同じ「角しばり」や「はさみしばり」など、いつも通り？作れば大丈夫。
スカウトのみんなが力を合わせて、思っていた以上に立派なベンチが完成し、林道沿いに設置することができました。(なるべく左右にゆすらないで・・・)

スカウト諸君へ

6月以降の隊活動予定

- テーマ ; われらの力
活動目標 ; ・リーダーシップを身につける。
・人生に有用な知識と技能を修得する。
プログラム ; ハイキング(計測)
ソング ; 岩をぶちわりP78(P76) 懐かしの森へ P88
当番班 ; ハヤブサ班

日時	場所	集会	内容
13日(日) 19時～	姉崎公民館	班長会議・班長訓練	6月、7月以降活動
日() 時～	姉崎公民館	班集会(各班)	計測・野外料理、年間計画
20日(日) 9時～	姉崎公民館	進歩の勉強会	進歩
27日(日)	団野営場	隊集会	ハイキング(計測)
7/4(日) 8:40～12:00	姉崎公民館→ピオトープ	団行事	階段築造

<活動状況写真>

○奉仕活動(ピオトープ築造:ウッドチップ敷設)



○奉仕活動(ベンチ制作)



「スカウト運動」 E.E.REYNOLDS より(一部加筆修正要約)

～「成年(第3回世界ジャンボリー)」～

○スカウティング創設21周年(成年)記念として、1929年にイギリス・アローパークにて「第3回世界ジャンボリー」が開催された。1920年の第1回では33カ国、8000人の参加であったものが、9年後の第3回にして67カ国、5万人参加の大会になったもの。
○7月31日: 降雨により足元はぬかるんだの中での開会式となった。
ジャンボリーの参加者はいつでも「ぬかるみ」の話をする。それ程ジャンボリーで「ぬかるみ」の果たした役割は大きかった。冗談ごとではなかったが、冗談でもあった。B-Pいわく「天気の良い時は誰だってキャンプができる。雨の時にこそスカウトは真価を発揮する。」かくしてアローパークの雨は天の試練となった。
○8月1日: 国王エドワード5世からB-Pに対し爵位が授与された。
イギリスの習慣として、爵位の後に地名をつけるのだが、多くの方は「マフェキングの英雄」として当然マフェキングとすべさだと主張したが、ベーデンパウエルはボーイスカウト運動の性質から「ギルウェル」とした。「ロード・ベーデンパウエル・オブ・ギルウェル」
○8月10日: 世界のチーフスカウト(B-P)に記念品を贈呈。(自動車)
この贈り物はB-Pには秘密にされていたが、贈り物を計画した方々はB-Pが何が欲しいのか、B-Pの妻を通して聞き出そうとした。妻が何か欲しいものがあるかと聞くと「何もない。私は世界一の金持ちです」と答えた。B-Pが考える「金持ちとはもっとも望みの少ない人である」ということである。
なお、以前キャンプで使用していたB-Pの車は2度も故障を起こし、家まで引いていかなければならないほど古くなっていったとのこと。
○8月13日: 閉会。「世界の果てからジャンボリーに参加された外国スカウトの皆さんにお礼を言いたい。世界中に友達ができたと、他国の良い点だけを持って親善大使として帰国されたい。そして、常に良きスカウト、健康で市民の助けをするように務められたい。」

※初回からは市原第7団ホームページに掲載